

## 令和4年度補正予算 WHO 案件クネネ州の現場視察 (令和6年4月25日)

2024/04/25

令和6年4月25日、クネネ州に出張した西牧大使はシャングラ保健・社会サービス大臣らとともに、令和4年度補正予算・世界保健機関（WHO）案件「強化されたアウトリーチ医療サービスを通じて、脆弱な人々のための質の高い医療へのアクセスを向上させるための支援」（供与額：300,000米ドル）の事業地の一つであるクネネ州オプウォ市での式典に出席しました。西牧大使は冒頭挨拶の中で、日本政府がナミビアの保健・社会開発分野を重視した支援を行ってきたことを説明しました。西牧大使は式典終了後シャングラ大臣らと共に、クネネ州の遠隔地にあるオロチトンボ村を訪問し、これまで医療サービスにアクセスすることが難しかったクネネ州の遠隔地における保健サービスが改善されていることを現場で確認しました。



写真1：西牧大使挨拶



写真2：シャングラ保健・社会サービス大臣挨拶



写真3：（左より）オプウォ市長、警察代表、アンチノ・クネネ州議員、シャングラ保健大臣、西牧大使、ブランツオ WHO ナミビア代表代理、アモコンゴ UNFPA ナミビア副代表、アマンボ保健副次官、シャプンバ・クネネ州保健局局长。



写真4：オロチトンボ村視察の様子（1）



写真5：オロチトンボ村視察の様子（2）



写真5：オロチトンボ村の住民